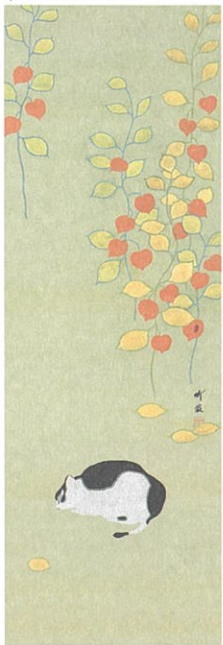
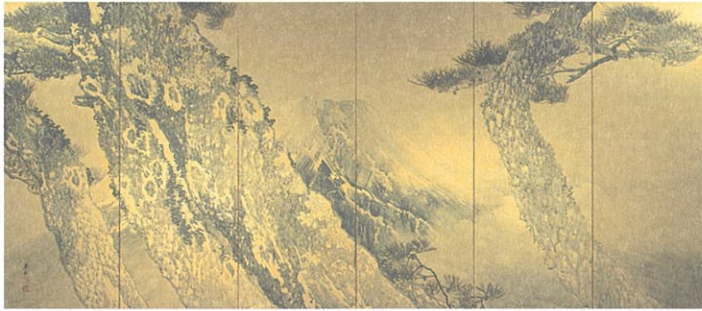


「山中暦日(さんちゅうれきじつ)」とは、人里から離れ山奥でのんびりと暮らすことを表します。「山中暦日無し」ともいい、山奥でゆったりと暮らすと、月日がたつのを忘れてしまう、という意味です。

さまざまな困難と向きあって暮らす日々の中で、現実の不安やストレスを少しだけ癒し、ゆったりとした時間を過ごしていただければと願い、富山県水墨美術館の収蔵作品を、4つのテーマから紹介します。

紹介するどの作品も、時代をさかのぼることはあっても、わたしたちの生活からそうかけ離れたものではありません。ささやかな日常の風流を楽しむ心や穏やかな生活、日本の自然や風土、そして小さな命を愛でる気持ちに思いをはせていただき、心静かに作品と対話していただければ幸いです。



1・2 山元春拳《松二富士山》制作年不詳 3 尾竹竹波《猫》1914年 4 川合玉堂《湖畔連雨図》1912年 5 富田漢仙《三保の富士》制作年不詳 6 富岡鉄斎《四幅図》1894年頃 すべて富山県水墨美術館蔵

展示テーマ

- 一、山紫水明 …… 自然の景観が澄みきって美しいことです。みなさんによく知られている風景や画題で、この展示会が始まります。
- 二、雪月風花 …… 四季の季節を楽しみ愛でる風流な生活のことです。何気なく過ごす日々にも、わずかずつ季節の歩みがあります。
- 三、一切衆生 …… この世に生きる、すべてのものごとのこと。無限に連なってゆく命に、作者の心は大きく揺り動かされたことなのでしょう。
- 四、晴耕雨読 …… 心静かにのんびりとどかに暮らすことです。人もまた、自然の一部として生きていることを作品が教えてくれます。

観覧料 一般 300(230)円 大学生 150(110)円

※()内は20人以上の団体料金 ※小・中学生・高校生及びこれらに準ずる方、各種手帳をお持ちの方は無料

当館では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組みながら開館しております。ご来館の際は、マスク着用や手指の消毒など、感染防止の取り組みにご協力ください。また、展示室への入場制限をおこなう場合がありますのでご理解のほどお願いいたします。

常設展示 | 近代水墨画の系譜 下保昭作品室 ※観覧料：企画展観覧料に含まれます

館内施設 | 茶室「墨光庵」(立礼席、薄茶とお菓子) カフェ「北斗」 ミュージアムショップ「風花」 ※展示室外入場無料
 交通のご案内 | 【富山駅南口から】◎市内電車(大学前行)「富山トヨペット本社前(五福末広町)」下車、徒歩約10分 ◎ぐるっとBUS②乗場から北西周りルート「水墨美術館」下車すぐ ◎地鉄バス③乗場から小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩約10分
 /◎乗場から四方・呉羽山老人センター・石坂・北代循環行「畑中」下車、徒歩約10分 ◎タクシー約10分 【富山空港から】タクシー約25分 【北陸自動車道】富山IC、富山西ICから自動車約20分 【無料駐車場】乗用車165台、バス7台

次回企画 | 生誕100年記念 日本画家 横山操展 -その画業と知られざる顔- 9月18日(金)~11月3日(火・祝)

富山県水墨美術館 〒930-0887 富山県富山市五福777 Tel: (076) 431-3719 Fax: (076) 431-3720
 www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm

